



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第342号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「店で働く人」

湖北小学校の3年生で社会科「店で働く人」の授業が展開されました。今日のねらいは「スーパーマーケット」と専門的に商品を取り扱う「お店」で行われている工夫や特徴を理解することです。

初めに先生から、「湖北駅はなぜスーパーマーケットとお店が近いところにあるのだろう」という疑問が投げかけられ、スーパーマーケットとお店、それぞれのよさについて考えました。自分で考えた後、グループになってみんなで考えをまとめました。他の人の考えを聞いたり自分の意見を伝えたりすることで考えが深まっていく様子が見られました。

発表では、スーパーマーケットには、「商品の種類が豊富」「夜の割引」「ポイントカード特典」などがあり、お店には、「新鮮なものが多い」「安い値段で袋いっぱいに入っている」などの意見が挙げられました。先生からは、スーパーマーケットとお店の店員から聞いたそれぞれの工夫についても教えてもらいました。

それぞれの特徴について知り、スーパーマーケットもお店も地域のお客さんのことを考えていろいろな工夫がされているということが分かりました。今後、子ども達が今日の授業を活かしてどのように買い物をし、地域と関わっていくのか楽しみになりました。



Abi-ふるさと・キャリア「伝えよう 一小的たからもの」

我孫子第一小学校3年生の総合的な学習の時間に「伝えよう 一小的たからもの」の単元でAbi-ふるさと・キャリアの授業が行われました。これまでテーマを選んで自分達で調べた「一小的たからもの」についてさらに詳しく理解するため、別のテーマを選んだ人と班を作って相談会を行いました。はじめに「どのような相談をするのか？」という担任からの質問に、「誰にインタビューをすればいいか」「どんな質問をすればいいか」や「ほかに調べることはないかアドバイスを聞く」などの意見が出され、学級全体で相談会の目的を共有しました。

相談会では、これまでに調べたことを分かりやすく伝え、たくさんの意見をもらいました。他の人からの相談には、どうやって調べていくのがいいか意欲的に考え一生懸命伝えました。相談し合い、共に考えることで他の人のテーマについても関心を持つことができました。



最後の振り返りでは、「これから何をすればいいか悩んでいたけれど話を聞いてもらって気持ちが楽になった」「一生懸命考えてくれて嬉しかった」「友達の役に立ててよかった」など相談会を通して、多くのことを感じたことが伝わりました。テーマに沿ってさらに詳しく知るだけでなく、協働的な学びとしても意義のある授業となりました。